

廿日市市 佐伯地域 ウォーキングのしおり

文化



自然



史跡



歴史



イベント



昔、人は歩いていました。

今も、人は歩きつづけています。

歩いてみよう！はつかいち！！

はつかいち



廿日市市と島根県津和野市を結んだ江戸時代の要路「津和野街道」。石州（津和野・吉賀）、山代（岩国市北部）の和紙をはじめ、沿道の産物が行き交い、文化の交流・発展に重要な役割を果たし、津和野藩当主の参勤交代にも利用されました。そして、山里と呼ばれた佐伯地域は、人の往来が盛んで、古くから宿場も置かれ、にぎわいをみせました。しかし、時とともに少子・高齢化など大きな変化の波が押し寄せてきました。そのような佐伯地域で、往時の「津和野街道」を偲ばせる石畳が時を越えて蘇り、歴史の道を楽しむことができますようになりました。今、時の旅人となり、遙か昔より連なる人々の足跡をたどってみましょう。



— 県道
— 津和野街道



教覚寺



重なり岩



十王堂



岩倉ファームパーク



津和野街道石畳



イワカガミ

廿日市に残る古道
津和野街道を歩いてみましょう。
津和野街道ルートマップ

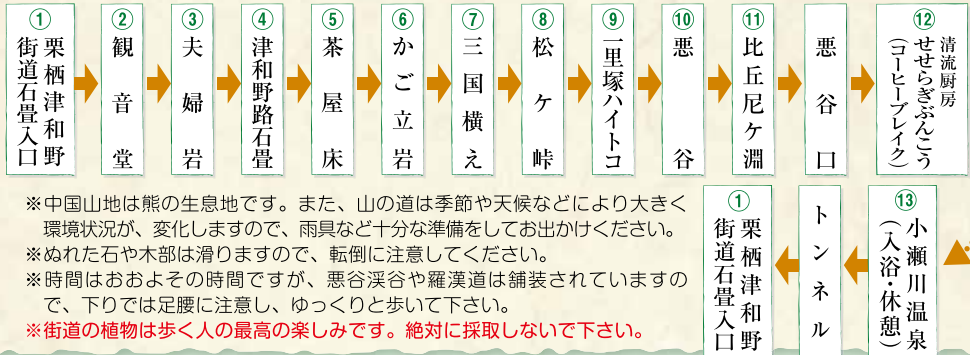


A 栗栖 津和野街道を歩こう

全行程 約11km 所要時間 約6時間

津和野街道 悪谷コース (栗栖発着)

栗栖～津和野街道～悪谷～悪谷溪谷～悪谷口～186号線～栗栖



※中国山地は熊の生息地です。また、山の道は季節や天候などにより大きく環境状況が、変化しますので、雨具など十分な準備をしてお出かけください。

※ぬれた石や木部は滑りますので、転倒に注意してください。

※時間はおよそその時間ですが、悪谷溪谷や羅漢道は舗装されていますので、下りでは足腰に注意し、ゆっくりと歩いて下さい。

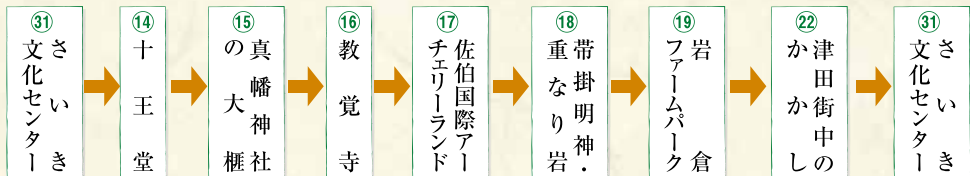
※街道の植物は歩く人の最高の楽しみです。絶対に採取しないで下さい。

B 水と緑に囲まれた田園地帯を歩こう

全行程 約7km 所要時間 約3.5時間

歴史とさわやかな森林浴コース (さいき文化センター発着)

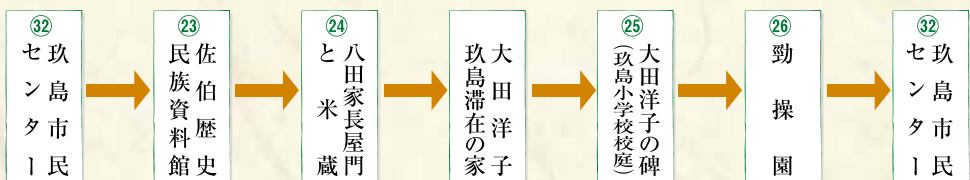
さいき文化センター～十王堂～大カヤ～教覚寺～重なり岩～岩倉ファーム～さいき文化センター



C 玖島周辺ウォーク

全行程 約3km 所要時間 約2時間

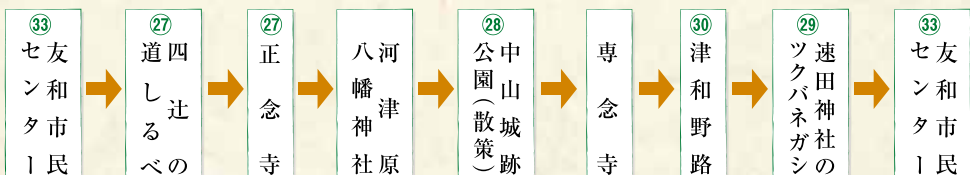
佐伯歴史民俗資料館と大田洋子を知るコース (玖島市民センター発着)



D 友和里山・津和野街道ウォーク

全行程 約6.5km 所要時間 約3.5時間

友和里山・津和野街道と中山城跡散策 (友田市民センター発着)



津和野街道を歩こう

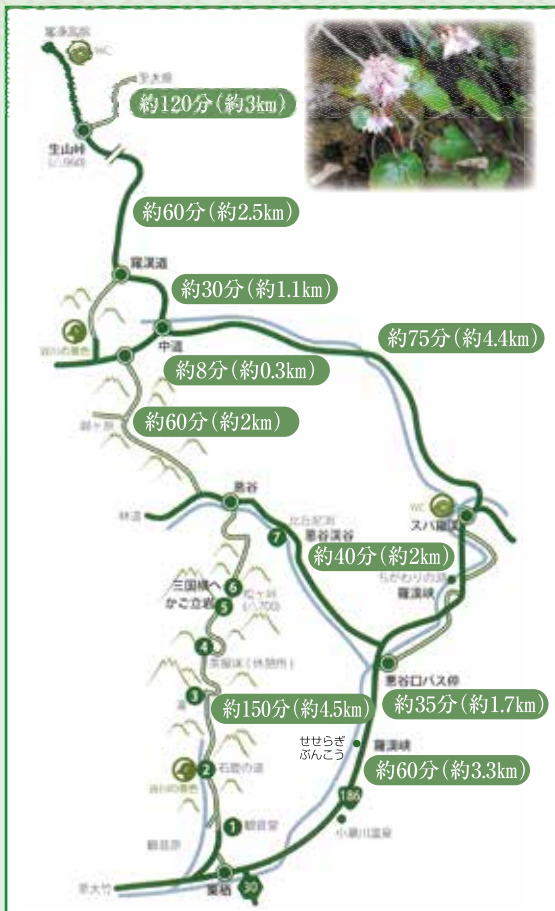
津和野街道ウォーキングコース (栗栖地区)

栗栖より

- ① 栗栖入口⇒石畳の道⇒悪谷⇒
⇒悪谷溪谷⇒悪谷口⇒
⇒(国道186号)⇒栗栖入口
(約10km およそ4時間30分)
 - ② 栗栖入口⇒石畳の道⇒悪谷⇒
⇒中道⇒スバ羅漢⇒
⇒(国道186号)⇒栗栖入口
(約17km およそ6時間30分)
- また、生山峠を越えて錦町大原、
宇佐郷へのコースは、栗栖より
宇佐郷まで約8時間位です。

【参考】

岩倉ファームパークキャンプ場から
栗栖までは、約2.5km、
徒歩で40分前後。



歴史と体験スポーツ
さわやか森林浴コース

玖島の史跡マップ



友和里山歩きと中山城跡散策ルートマップ



津和野街道を歩いてみよう

1 栗栖津和野街道石畳入口

甘日市より県道30号線を吉和方面にすすみ栗栖橋を渡ると、大竹からの国道186号線につきあたります。大竹方面へ少し行った所に広がっているところがあり、そこが、津和野街道の石畳への入口になります。



2 観音堂

入口から約200m位行ったところに巨石を祀ったお堂があります。書出帳には廃寺観音堂壱宇右は何時の頃より観音と唱え来候哉、本尊は常の石にて御座候、もつとも堂は享保11年に建立とあります。津和野路の道のそば北側、このお堂は旅人が立ち寄って休憩をとった所であろうと思われまます。



3 夫婦岩

観音堂のそば20〜30mばかりの所に高さ1mほどの岩、さらに近くの上にある岩と二つ合わせて夫婦岩と呼んでいます。



4 津和野路石畳

津和野から六日市、大原、津田を経て甘日市に至る昔の道、吉見時代は紙を主とした交易の道でありました。亀井氏津和野藩になって寛永8年(1631)芸州藩より甘日市に蔵屋敷地を借受け以後参勤交代の津和野街道と言われるようになる。もつとも津和野藩では芸州街道と呼んでいたようです。甘日市から津和野まで17里(68km)の道のりでありまます。

昭和54年頃整備された中国自然歩道の一部になっています。

ちなみに佐伯地域の自然歩道は玖島の泉水峠から大峰山のふもとを通り助藤、所山、栗栖からこの津和野路を進み生山峠に至っています。急坂の所は雨水に道が崩れない様石畳が敷かれていたが、明治時代になり木材運搬のため多くが除かれて、この場所に見える50〜60mの石畳と2km位先に150mばかり、あと所々の急坂に見る事ができ、総延長約500m位になります。



5 茶屋床

栗栖の入口から約2.7km、谷沿いの石畳、沢渡り岩場を通り抜けて茶屋床で一息です。これから横山の背を越え、海拔700mの籠立、三国横えと向かい、横山(908m)山頂は尾根つたいにすぐそこです。道端の山野

草、谷間の小鳥のさえずり、木々の間を通る風の音に、心がなごみます。



ここに一間巾に一間の四本柱で萱葺屋根の小屋掛けを作り、担ぎ棒が収まる程度の広さで殿様が休んでおられたと言われています。

6 かご立岩

往時参勤交代の折、津和野藩の殿様が籠をこの上に置いて休まれた事からかご立岩とよばれています。松ヶ峠を登って来て一息つけるところであります。西の空は



か遠くにお国、石州の山並みが見られたことであります。

7 三国横え

今は美しい檜の樹林が続いていますが、往時は低木の山で鬼ヶ城山、冠山、十方山、小五郎山、安藏寺山と安芸、石見、周防の山々が一望千里と遠くまで見渡せたので「三国横え（さんごくよこえ）」と言われていました。

このあたりは草花の宝庫で、イワカガミ、イカリソウ、シユンランなどが見られます。



8 松ヶ峠

悪谷から折り曲った坂道を登ること七曲り。ようやく横山の尾根に出ます。葉樹林から松林に変わり、土質も花崗岩質に変わります。

江戸時代この地を治めた広島藩の家老上田家の役人の記録文「郷邑記」の中に次の様な一文があります。「松ヶ峠 栗栖中道境なり、夏は熊出で涼み居る事有り、松の太木四、五本集め枝を以つて棚を作り、上は枝を以つて日覆にして松の梢に涼み居る。人に驚くときは災いをなす、依つて山中を一人行くには唄うたうべしとな

り。予も一年其の涼みし跡を見し事有り、人声を聞く時は熊、狼、狸、猪、鹿も速かに去る也」



9 一里塚ハイトコ

「芸藩通志」石見津和野路のところで、栗栖村一里十二町余、観音原木橋より茶屋床まで廿七町、それより弥陀川まで降九町余、里

俣一座、はひとこにあり、と出ています。岩倉の一里塚から36町、現在の所不明ですが、岩倉の一里塚（これも特定されていません）から山道を勘案して茶屋床あるいはその手前200〜300mが予想されます。

10 悪谷

県道186号線の悪谷橋から左に林道を悪谷川に沿って約2km登った所で、津和野路の松ヶ峠からの下り道と出会い、谷川がくの字に大きく曲がって一寸した広場になっています。休憩用のベンチが置いてあります。毎年5月3〜5日に



広島のカリスト教会の信者の人達の廿日市から津和野までの巡礼の旅が有り、この悪谷でミサが行われています。

11 比丘尼ヶ沢

悪谷の休憩地から悪谷川を300m位下った所に深い淵があり、今は青く静まりかえっています。この淵には針山へ行く途中の瓶(コシキ)坂に昔、古寺が有り、その尼僧とこの淵にまつわる、おそろしい民話が伝わっています。



11

12 清波厨房

羅漢峡ぞいにあり、テラスからの美しいせせらぎを眺めながら食事、喫茶が出来るレストランです。津和野街道ウォークをされた方の憩いの場ともなっています。



12

ウォーク後のおみやげに“古道ワッフル”はいかがでしょう。

13 小瀬川温泉

小瀬川沿いにあり、西日本では屈指のラドン含有量を誇る無味・無臭で数多くの効能をもつやさしいお湯で、津和野街道を歩かれた後、ゆっくりとお体をほぐしてください。温泉水・飲料水が持ち帰れるようになっており、水汲みの人たちでも賑わっています。



13

津田の街歩き

14 津田 十王堂

史跡 (市指定 昭和41年10月1日)

昔、官道石見津和野路は廿日市から津田を経て津和野に至る、山陰・山陽を結ぶ大切な街道でありました。津田はその中間の宿駅でした。津和野街道に山代道が合うこの地に冥府で亡者を裁くという十王を祀る「十王堂」という小祠があります。「津田村誌」に「十王堂の地名古くよりあり、又十王の」に天正2年(1574)の銘あるもの

あり」と記されています。今お堂は西福寺の裏にありますが、昔は、天野医院の前あたりの津和野路往還の北側にありましたが、県道拡張の折、天野医院の横あたりに移され、再度現在の所に移されました。



14

十王信仰は中国においては唐代の末頃に成立し、わが国には平安時代の後期に伝わり、鎌倉時代に大流行いたしました。人は死ぬと、冥界(仏の世界)にあって生前の罪業を裁断する10人の王(十王)の調べを受けなければなりません。その調べは死後7日ごとに行われます。初七日中国道教の影響の強いこれら十王は、やがて仏教との融合の中で本地仏が決まります。

秦江 王↓不動明王(初七日)
 初江 王↓釈迦如来(二七日)
 宋帝 王↓文殊菩薩(三七日)
 五官 王↓普賢菩薩(四七日)
 閻魔 王↓地藏菩薩(五七日)
 変成 王↓弥勒菩薩(六七日)
 太山 王↓薬師如来(七七日)
 平等 王↓観世音菩薩(百ヶ日)
 都市 王↓勢至菩薩(一周忌)
 五道転輪王↓阿弥陀如来(三回忌)

15 真幡神社の大櫃

天然記念物(県指定 昭和14年10月28日) 津田の真幡神社境内に、悠然とそびえ立つ大木があります。胸高周囲48m、高さ35mもあり、カヤでは県下一の巨樹で、昭和14年に県の天然記念物に指定されています。



15

16 教覚寺 山門

重要文化財

(市指定 昭和51年11月16日)

元禄元年(1688)の建築である永泉山教覚寺のこの山門は、桁行2間(36m) 梁間15間(27m)の萱葺の瀟洒な姿で建築以来300年近い年月をしのいで立っています。桃山様式といわれる貴重な木造建築です。階上に鐘をつるす鐘楼門になっています。

「芸藩通志」に「教覚寺、同津田村にあり、永泉山と号す。大永三年規の癸未僧永泉開基」とあり、

江戸初期虫所山夏夜鳥より、この地に移ったといわれています。



16

17 佐伯国際アーチェリーランド

アーチェリーは誰でも簡単に楽しめることが最大の魅力。ヨーロッパやアメリカでは生涯スポーツとしても人気があります。澄みきった空気の中で、年齢も性別も関係なく子供から年配の方まで気軽にアーチェリーを体験できます。平地のグラウンドでの的を狙うターゲットアーチェリーと、自然の中に設



17

置されたコースにある的を矢で射ってまわるフィールドアーチェリー。初めての方でもインストラクターが一人ひとり射ち方を丁寧に指導します。2012年のロンドンオリンピック出場選手を輩出いたしました。

18 帯掛明神と重なり岩

岩倉ファームパークから西へ約500m行くと松や桧に囲まれた小さな洞があります。これを岩倉明神、又は、帯掛明神と言います。その洞の上に縦、横、高さとも2mあまりの花崗岩が二つ重なりあっています。しかも上下の岩が接するのは、わずか1m位で横から見ると今にも落ちそうな感じ

です。決して落ちない岩として、テレビ番組でも紹介されるなど。受験生に人気のパワースポットとなっています。



18



19 岩倉ファームパーク

小瀬川の清流沿いで、せせらぎの森のそばにあり、自然が満喫でき、自分流に楽しめるフリースタイルのキャンプ場です。



19

20 津保美堂

「二重焼き」で行列ができるほど人気のお店です。他にも、どらやきや栗饅頭などがあります。

おやつや、おみやげとしてお求めください。お店の前のかかしもご覧ください。



20

21 佐伯醤油

大正13年創業のお店で、佐伯の水と緑に囲まれた里山で育まれた味が人気です。

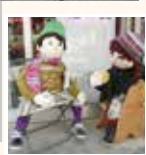


21

22 かかし

佐伯商工会女性部は平成23年、かかしを活用した新しいまちづくりを計画。かかしによる癒しと賑わいのあるまちづくりを目指し、「一案山子を活用した地域活性化事業」案山子人形で魅力ある町づくりを立ち上げて、地域住民を巻き込んだ取り組みを始動させました。

講習会を開催し、計約130体のかかしが完成。出来上がったかかしは地元のお店や観光施設などに並べられ、道行く人の目を惹かせているほか、地域イベントなどに応援隊として登場し、ユニークな表情やしぐさで見ると心を和ませています。現在、佐伯と吉和を結ぶ佐伯吉和線(県道30号、国道186号)沿い約30か所、素朴で個性豊かなかかしたちを目にすることができそうです。



22

玖島の史跡を歩こう

23 佐伯歴史民族資料館



開館時間：水・土・日曜日
(12/25～1/3は閉館) 00
開館時間：10:00～16:00
ご確認の上 出かけ下さい。
2012年11月現在

佐伯地域に現存する文化財を収集、整理、保存公開し市民学習の資料に供するため、昭和57年に建設されました。展示室3室、学習室、土蔵と管理室からなっています。歴史・考古資料展示室・町内で出土した縄文式土器・石器、土師器・須恵器等の考古資料や「小田家文書」をはじめ「津田村検地帳」など先史時代から今日に至る歴史・考古資料を実物・写真・図表などにより時代を追って展示しています。

24 八田家長屋門と米蔵

史跡(市指定 昭和51年11月16日) 文政10年(1827)に建てられた、庄屋屋敷の長屋門は瓦葺き平屋建て(長屋二階)、一部がケヤキ造りの豪壮なものです。米蔵は

梁間8m、桁行き20mもある総二階造りの大規模なもので明治末期の大地主の状況がうかがわれ、歴史資料として大変貴重です。

この長屋門の柱には、鉦か斧で切りこまれた痕跡があります。これは明治4年の武一騒動の跡です。廃藩置県による旧藩主の東京移住を阻止しようとして旧領内の農民が広島城下に集合、数千の人数でもって道をふさぎ阻止しました。

この中心人物が山県郡有田村の武一で、この騒動は8月から10月まで続き旧広島藩領全域に広がりました。最初は旧藩主の引留運動であったが新政府の政治への反対となり、さらに転化して末端の村役人や豪農商への「反抗、農民一揆」の打ち壊しに発展しました。



25 大田洋子の碑

小説家である大田洋子の碑は玖島小学校校庭に、昭和53年8月同

校児童会の手によって建てられています。碑文には「屍の街」の二節が刻まれています。

【明治36年(1903)11月20日、昭和38年(1963)12月10日、広島県山県郡原村に生まれる。本名初子。明治43年4月山県郡の小学校に入学。大正7年(1918)佐伯郡玖島の高等小学校を卒業後、広島市の高等女学校に入学、11年安芸郡切串の裁縫教師、13年広島県庁に勤める。昭和4年(1929)文壇的処女作「聖母のある黄昏」を発表。昭和5年に上京し、12年自伝小説「流雛の岸」執筆(32年日活で映画化)。15年「桜の国」が朝日新聞懸賞当選(16年松竹で映画化)。20年広島市白鳥の妹宅に疎開。8月6日原子爆弾被災。3日間野宿した後、佐伯郡玖島の知人宅に滞在。11月被爆の惨状のルポルタージュ「屍の街」脱稿。GHQの検閲があるため発行できず、ようやく23年部削除して出版。26年「人間檻樓」で第四回女流文学者賞、28年「半人間」で昭和29年度平和文化賞受賞。38年12月10日福島県猪苗代町に取材旅行中に死去。】

『大田洋子集』全4巻(三書房。平成13年日本図書センター復刻)がある。(『大田洋子集』第四巻

「大田洋子年譜」より抜粋)



26 勁操園

名勝(市指定 昭和41年10月1日) 玖島郵便局より南に向かつて行くと裾野の切れ目に庭園「勁操園」があります。「八田公園」として親しまれています。「八田公園」は明治28年玖島の八田家の築造によるもので面積約230㎡、三角形の敷地の中に山水をあしらひ、大峰山を借景にした規模の大きなものであります。庭園中央には郡史であった八田新七翁の業績をたたえて建立した高さ6mの記念碑があり、碑銘は浅野長勲筆、裏の碑文の作と筆は明治の書家として名高かった巖谷六によるものであります。勁操の勁は「つよし」、操は「みさお」で強い操守の意、新七翁の号であったものを園の名称としたものです。後に八田氏から玖島村へ寄付され佐伯町に引き継がれたものです。



友和里山歩きと 中山城跡散策

27 正念寺四辻の道しるべ

正念寺境内の東南の角、石垣に組こまれて1面のみ出でて、右おほむしみち、左 つわのみちと彫つてあります。東西は津和野路、南北は玖波からここ河津原、本谷を通り鷹の巣山の北をかすめ大虫へぬける山道です。大虫から上水内の雲出、本多田をへて石州へ通じています。



28 中山城跡公園

中山城は標高327m、高低差50mの中山に築かれた城で、もと在地土豪の詰めの城と考えられます。

本城には石垣こそ用いられていないが、地面を加工して人工の急斜面と削平地を造り出しており、そ

の周囲には三重の堀切や堅堀群、さらに横堀など、発達した空堀が確認できます。土の造形による典型的な中世城郭であります。

本城は安芸国西部の城郭の中では、際だって厳重な防御施設を備えた城であつて、現状のような空堀を多彩に駆使した縄張りが完成したのは、このときの改修によるものであらうと考えられます。

戦いの舞台となつた地域だけに、本城の周囲にも陶方の陣城であつた勝成山城、毛利方の築いた狼倉山城など、双方の拠点となつた城が点在しています。

現在は地区の人達により公園としての整備がすすんでいます。



29 速田神社のツクバネガシ

天然記念物(県指定 昭和35年3月12日)

鳥居の右手前にある大木衝羽根檜、葉のつき方が羽根や羽子に似ています。弾力性に強く狂いが少ない材質なので建築材や船舶の舵などに利用されています。

胸高周囲5m樹高27mあり、ツクバネガシでは県下一の巨木です。祭神は飽速玉命と天王社(祇園社系)も合わせ祀つてあります。

30 津和野路(佐伯ルート)

汐見峠から大体今の県道を西へ

進みグランドハイツ入口を過ぎます。今は道が崩れているが峠わた屋(こだの口屋敷)の北側を回つて県道に出て一寸行き、工業団地入口の100m手前で左下へ下ります。工業団地の道と交差して田中の橋、ここに一里塚もあり、街道松も残つていたそうです。このあたりから友和の小学校前玖島川を渡るまでの道を進んでいきます。小学校前で北側に渡り、県道を進み速田神社前を通り200m先で右の旧道に入り佐伯マル二の横を通り正念寺前から樋ヶ平をぬけて今田宅前の三叉路で県道にでます。ここから横ヶ峠までは県道を西に進み峠より南側の山手側をまわり、下市から天野病院の手前で県道に出ます。十王堂から市役所支所前を100m進み町筋の南裏手の小道を進み、花上川を渡つて小学校前上がりです。小学校講堂の裏手から西へ200m、畑の中を昔のままの道が残っている坂を下つて、ここからは旧県道を通り

ます。岩倉法龍寺の裏手から大虫川を越えて栗栖の河内神社の下を通り県道の北より旧道を進みます。黒田の所で県道と交叉して観音橋に出ます。そして国道を横断して津和野石だみ坂へと続いています。

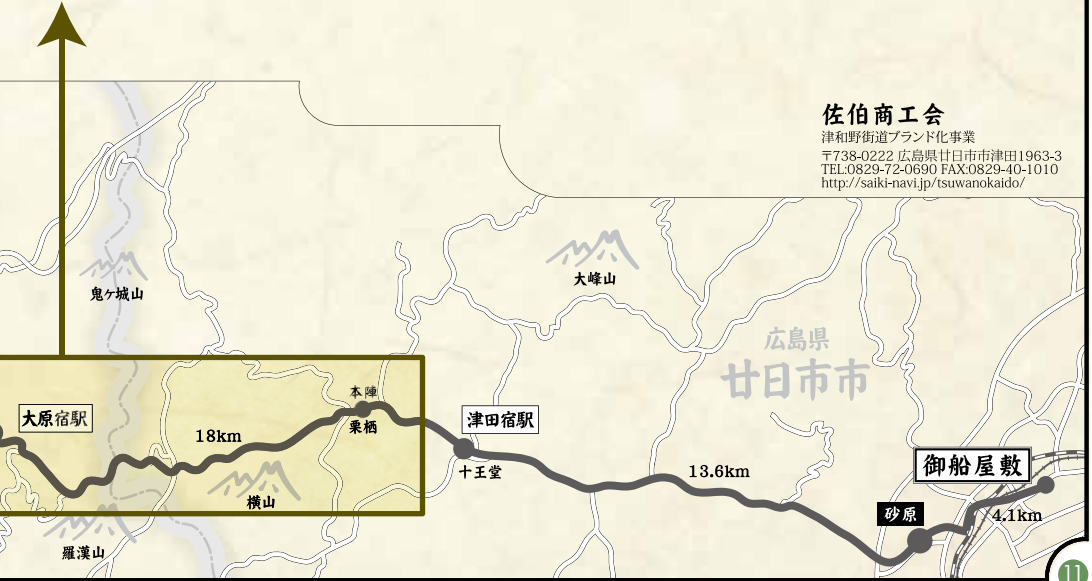
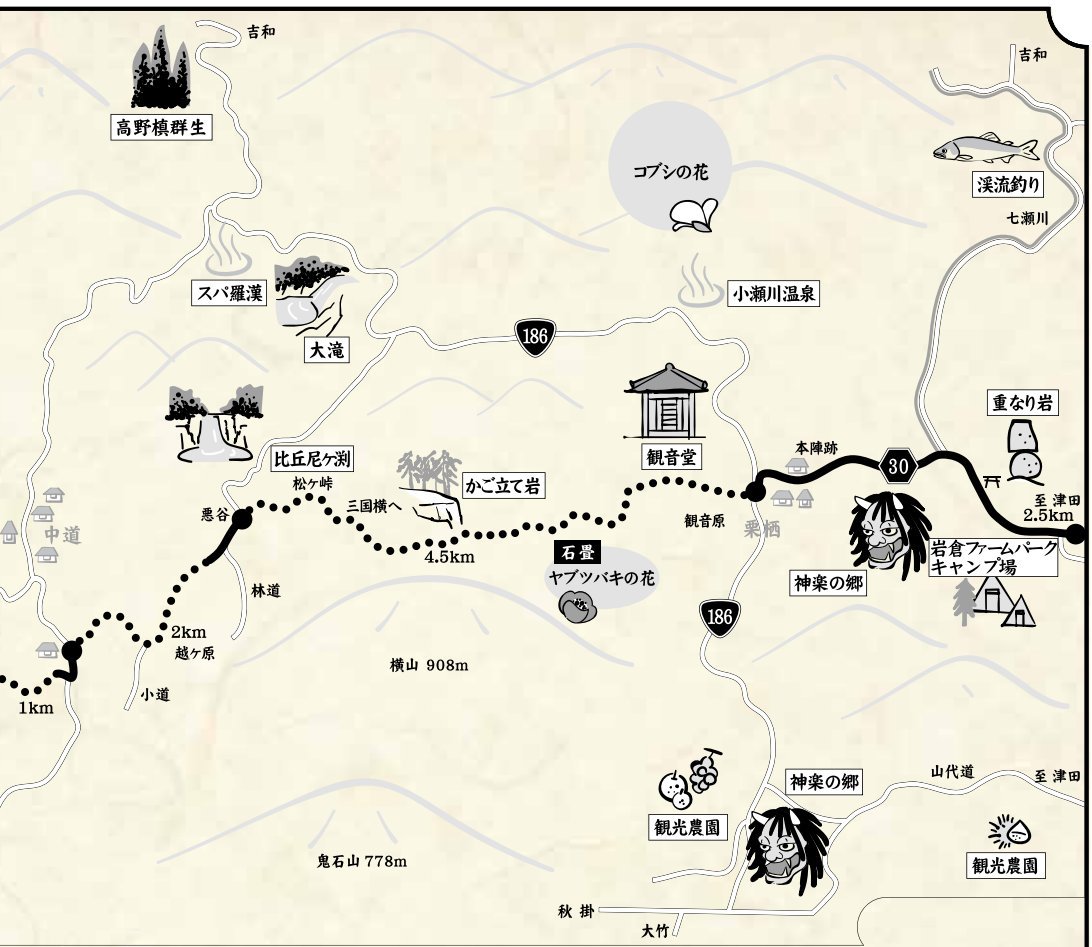


31 さいき文化センター



32 玖島市民センター

33 友和市民センター



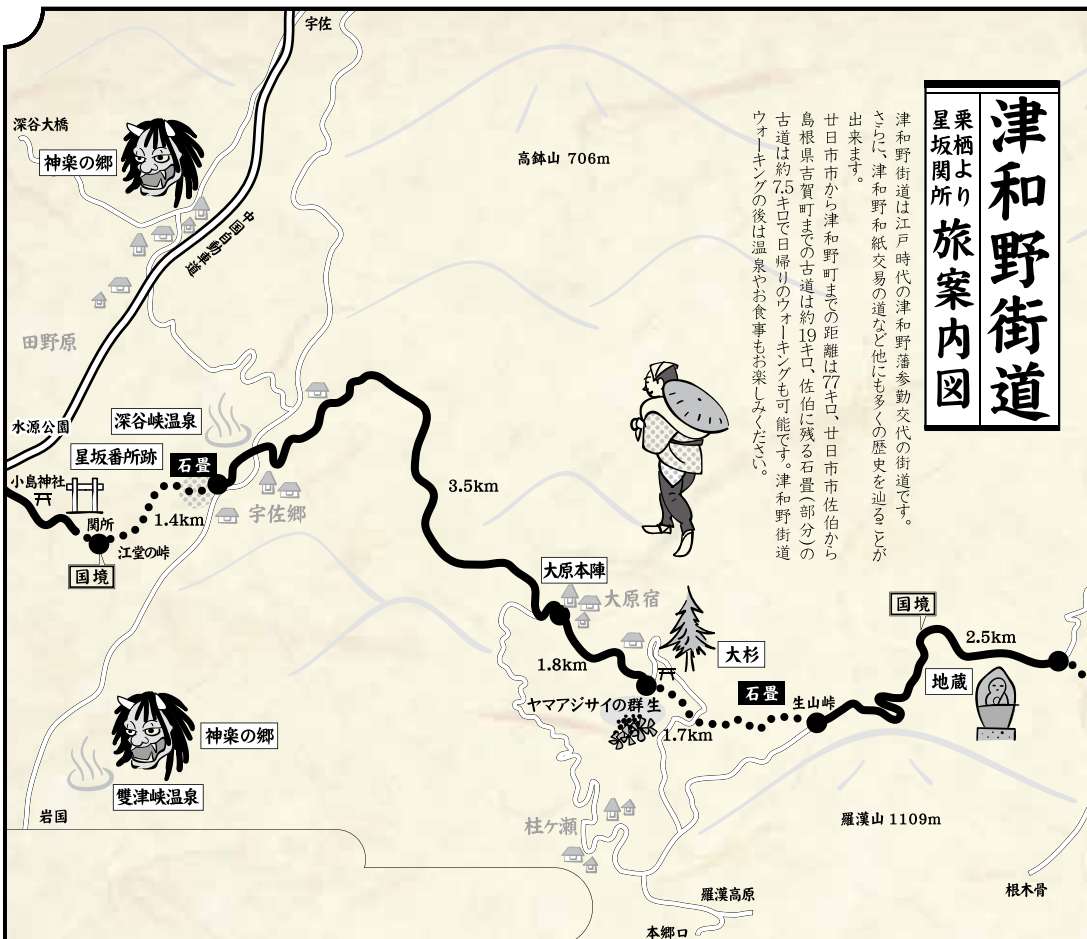
佐伯商工会

津和野街道ブランド化事業
 〒738-0222 広島県廿日市市津田1963-3
 TEL:0829-72-0690 FAX:0829-40-1010
<http://saiki-navi.jp/tsuwanokaido/>

津和野街道 星坂関所 旅案内図

津和野街道は江戸時代の津和野藩参勤交代の街道です。さらに、津和野和紙交易の道など他にも多くの歴史を辿ることが出来ます。

廿日市市から津和野町までの距離は77キロ、廿日市市佐伯から鳥根県吉賀町までの古道は約19キロ、佐伯に残る石畳(部分)の古道は約7.5キロで日帰りのウオーキングも可能です。津和野街道ウオーキングの後は温泉やお食事もお楽しみください。



旅の心得

- ここでの生山峠は羅漢道の最高部約960mの場所なり。
- 山道は峰などに注意するべし。
- 水分は充分に補給するべし。松ヶ峠は標高700mなり。
- 津和野街道約77kmなり。

↑ 至 吉和、湯来

↑ 至 吉和、湯来

至 湯来 ↑

大峰山

サニーサイドヒル
西尾観光農園

至 湯来町 →

玖島の史跡マップ (4ページ)

芸南カントリー
クラブ

佐伯歴史民俗資料館

八田家長屋門・米蔵

玖島小学校

大田洋子の碑

櫛原

勁操園

歴史と体験スポーツ
さわやか森林浴コース (3ページ)

教覚寺山門

玖島川



八田家

甘日市市 佐伯支所
佐伯総合スポーツ公園
佐伯中学校入口
鷹の巣ゴルフクラブ

津田の大カヤ
(真幡神社)

中山城跡公園

ツクバネガシ
(速田神社)

玖島分れ

至 湯来町 →

友和里山歩きと
中山城跡散策ルートマップ (4ページ)

広島佐伯カントリー倶楽部

上勝成山

権現山

至 大竹 ↓

↓ 至 甘日市

甘日市市観光

ボランティアガイドわかば

☎0829-31-5656

(はつかいち観光協会内)

佐伯観光

ボランティアガイドの会

☎0829-72-0690

(佐伯商工会内)

大野歴史ガイドの会

☎0829-30-3533

(はつかいち観光協会 大野支部内)

さのき地域 史跡マップ



観光ガイドのご案内

廿日市市内（廿日市、佐伯、大野地区）の神社仏閣、施設、街道などをめぐる観光ガイドを行っています。時間や料金、対象など何でもお気軽にご相談ください。



桜の街 廿日市

小瀬川温泉



岩倉ファームパーク



佐伯国際アーチェリーランド

写真はすべてイメージとなりますので、ご了承ください。

お問合せ

一般社団法人はつかいち観光協会

TEL : 0829-31-5656 FAX : 0829-31-3822

〒738-0015 廿日市市本町5-1 商工保健会館

佐伯支部

TEL : 0829-72-0449
住所 : 廿日市市津田858

吉和支部

TEL : 0829-77-2404
住所 : 廿日市市吉和3425-1

大野支部

TEL : 0829-30-3533
住所 : 廿日市市大野1-1-1